

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 山本 梨乃

## 1, はじめに

2019年3月4日～3月18日までの期間、国際交流基金の助成を受けてオーストラリア語学薬学研修に参加しNew South Wales州にあるNorth Coast TAFE kingscliff campusにおいて語学、海外薬学について学びました。

また、学外やホームステイ先でも貴重な体験ができましたので報告させていただきます。

## 2, North Coast TAFE kingscliff campus

日本の学校と同じで、月曜日～金曜日は毎日学校に通い、主に英語の授業と薬学の授業を英語で学びました。TAFEは、薬学だけでなく美容師や整体師のような実践的なことを学べる職業訓練校です。

幅広い年齢の人たちが通っていました。



写真1 大学見学

写真2 模擬体験

### ・English class

英語の授業は、日本の授業と違って、みんなで積極的に参加する授業でした。みんなですべての日の生活で初めて知った単語を出し合い、次の日にゲーム形式でテストを行いました。ゲーム形式だったのでとても楽しく参加できました。毎日オーストラリアについての宿題があり、家に帰ってからホストファミリーのみんなに聞きながら宿題をしました。発音がとても難しく、何度も mother が一緒に練習してくれたことを覚えています。

・ Pharmacy class

午後からの薬学の授業は、全て英語だったのでとても不安でしたが、先生がとても優しく丁寧だったので楽しく学べました。

オーストラリアの薬剤師の役割や医薬品の分類の仕方について学びました。

また、実際に現地の薬局を見学し、日本の薬局との違いなどを自分で学ぶことができました。

興味を持ったのは、日本との違いでした。オーストラリアには、Pharmacy assistant という人がいるということでした。薬の分類によって Pharmacy assistant が患者さんに薬を提供する場合と、assistant と薬剤師と患者さんが関わる場合、assistant と薬剤師と医師と患者さんが関わる場合があるそうです。患者さんに薬を提供するのは同じだけれど、国によって様々な方法があるのだな、と思いました。

・ その他の授業

学校最終日には、現地の小学校に行き子供達に日本の文化を教えました。

私たちがオーストラリアの文化に興味を示すように、彼らも日本の文化に興味を持ち、たくさん日本について質問してくれコミュニケーションをとることができ、とても楽しい思い出になりました。



写真3 小学校での交流の様子

### 3, ホームステイ

私は、Mother と Father と 9ヶ月の女の赤ちゃんがいる家庭にホームステイさせてもらいました。私は英語が苦手なで、話すこともできなかったの、とても不安でした。でも、

明るく、笑顔で、ジェスチャーを！！をもっとうに行って来ました。本当に全てを英語で伝えるのは難しかったけれど、日数を重ねていくことで、私が一生懸命単語やジェスチャーを使って伝えようとする Mother が分かってくれるようになったことが嬉しくて、思ったことを恐がらずに言えるようになりました。Mother も Father も料理することが大好きで、たくさん美味しい料理を作ってくれました。中でも Mother の作るラザニアがとて美味しくて、最後の日の夜ごはんと一緒にラザニアの作り方を教えてもらいながら作りました。

放課後は、ショッピングに行ったり、海に行ったり、ひまわり畑に行ったり、カフェでアイスクリームを食べたりしました。

週末は、ハイキングをしてピクニックをしました。

本当に毎日楽しくて楽しくてあっという間に2週間が終わりました。



写真4 Mother と作ったラザニア



写真5 ピクニックの lunch

#### 4, 最後に

この研修に参加したことで、本当にたくさんの経験と思い出ができました。2週間という短い期間の中で毎日が私にとって刺激的でした。

出発前の研修できちんと研修の目的を明確にできたことで、より有意義な研修になったと感じました。

英語を海外で学べる1番のチャンスが留学してホームステイをすることだと思います。今回どちらも叶えることができたので、英語に対する私の意識も変わったし、何より私はオーストラリアに住んで薬剤師をしたい！！と強く思いました。本当になるためにはかなりの努力と時間が必要だと思いますが、私はできる限りこの目標に向かって進みたいと思いました。

オーストラリアでのこの貴重な経験を活かして将来に向けて様々なことに全力で取り組みます。



写真6 研修参加者と先生たちとの集合写真